

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施計画期間	令和 2 年度～令和 6 年度（5 年間）																				
事業実施地区名 （都道府県名）	（みや・しょうかわ） 宮・庄川森林計画区 （岐阜県）	事業実施主体	中部森林管理局 飛騨森林管理署																				
事業の概要・目的	<p>本事業は、宮・庄川森林計画区の高山市を含む 2 市 1 村に所在する約 117 千 ha の国有林を対象としている。</p> <p>本計画区は、岐阜県飛騨地方の北部に位置し、森林の現況は、人工林 36%、天然林 64% となっている。このうち人工林の樹種別割合は、カラマツ 36%、スギ 29%、ヒノキ 29%、その他 6% となっている。人工林における樹齢構成は、間伐適期である 5 齢級から 10 齢級の林分が約 3 割、主伐期である 12 齢級以上の林分が約 5 割となっており、主伐、間伐を見据えた路網整備や主伐後の更新とその後の保育が必要となっている。</p> <p>本地域は、県下森林面積の 36% を占め、古くから林業・木材産業が盛んで、木材関連産業は地場産業となっていることから、国有林においても、林業技術者や新規就業者など担い手の確保・育成や、地域産材の利用拡大と間伐材等森林資源の有効利用により地域産業の振興に寄与することが期待されている。</p> <p>また、奥地山岳地域は急峻で地質が脆弱であるが、地域の重要な水源となっているため、国有林の 98% が土砂流出防備保安林等に指定されるなど、土砂の流出や崩壊の防備、水源の涵養等に重要な役割を求められている。</p> <p>さらに、優れた自然景観を有している地域については、白山国立公園等の自然公園に指定されているほか、飛騨白山白川郷自然休養林等のレクリエーションの森を利用した登山、スキー場などの場としても多くの人々に利用されるなど、観光資源としての特性も兼ね備えている。</p> <p>令和元年度上半期に実施した完了後の評価では、地元岐阜県から「本県では、第 3 期岐阜県森林づくり基本計画に基づき主伐・再造林を推進しているが、施業の低コスト化や獣害対策については大きな課題であることから、国有林と民有林が一層連携して取り組んでいく必要がある。」と意見をいただいている。</p> <p>このため、本事業においては、これら地域から求められる役割を踏まえ、伐採・造林一貫作業システムによる主伐・再造林コストの低減をはじめ、保育作業や間伐作業における低コスト化、効果的な獣害対策等について、フィールドや技術力を活かして取り組み、民国連携の取組を通じて民有林への技術の普及を図るとともに、地球温暖化防止にも積極的に寄与することを目的として、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施する。</p> <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 10%;">703</td> <td style="width: 10%;">ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>4,606</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>19.9</td> <td>km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.6</td> <td>km</td> </tr> </table> <p>総事業費 4,654,006 千円（税抜き 4,230,915 千円）</p>			主な事業内容	森林整備	更新面積	703	ha			保育面積	4,606	ha		路網整備	開設延長	19.9	km			改良延長	0.6	km
主な事業内容	森林整備	更新面積	703	ha																			
		保育面積	4,606	ha																			
	路網整備	開設延長	19.9	km																			
		改良延長	0.6	km																			
費用便益分析	総便益（B）	13,475,437 千円																					
	総費用（C）	6,287,814 千円																					
	分析結果（B/C）	2.14																					
森林管理局事業評価技術検討会の意見	事業の必要性、効率性、有効性が認められることから、本事業を実施することが妥当と判断される。																						
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 地域から求められる役割を果たすとともに、地球温暖化防止に寄与するためには健全な森林を育成する必要があることから、事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 森林整備では、列状間伐や高性能林業機械による低コストで効率的な作業システムの定着を図ることとし、路網整備では、トラックの通行可能な林道がなく、林業機械での長距離運搬となっている非効率な箇所を優先的に整備するなどによ 																						

りコストの縮減を図ることとしている。

これらについては、費用便益分析の結果からも事業の効率性が認められる。

- ・有効性： 計画的な保育等の実施、森林整備と連携した路網の整備を通じて、多面的機能を発揮する健全な森林整備に資するものであり、また、森林施業の効率化・低コスト化についても民間連携の取組を通じて民有林への普及を図ることとしていることから、事業の有効性が認められる。

新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用便益分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能に応じた適切な森林整備が効率的に計画されていると認められる。

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業(国有林)

都道府県名：岐阜県

施行箇所：宮・庄川森林計画区

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	2,516,281	
	流域貯水便益	1,137,317	
	水質浄化便益	4,032,756	
山地保全便益	土砂流出防止便益	2,515,757	
環境保全便益	炭素固定便益	877,948	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	64,851	
	木材生産確保・増進便益	779,776	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	429	
	森林整備促進便益	1,537,613	
維持管理費縮減便益		12,709	
総 便 益 (B)		13,475,437	
総 費 用 (C)		6,287,814	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{13,475,437}{6,287,814} = 2.14$		

森林環境保全整備事業 宮・庄川森林計画区 事業概要図

森林整備事業（下刈後）



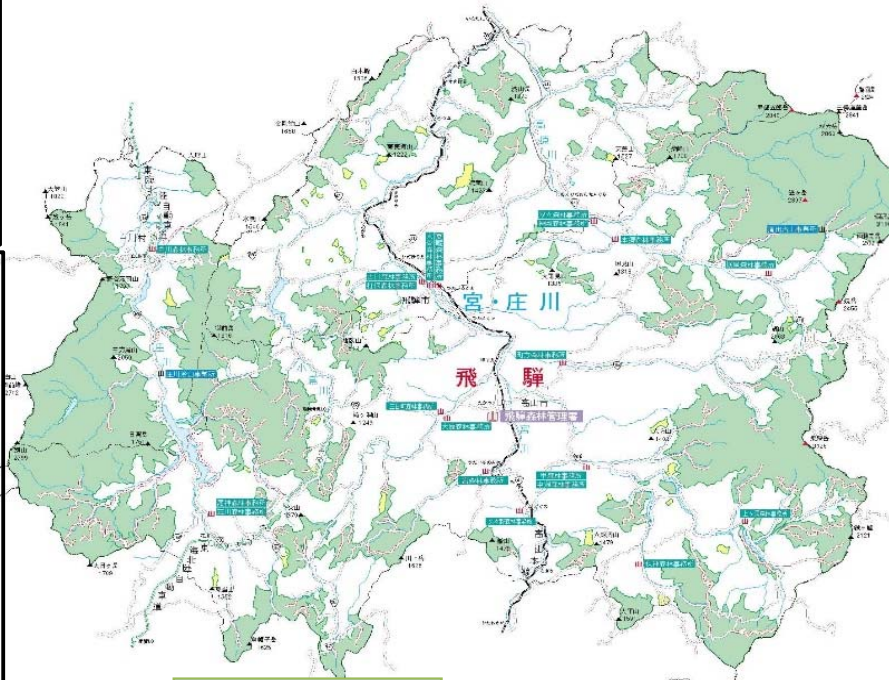
森林整備事業（間伐）



中部森林管理局管内
森林計画区位置図



宮・庄川森林計画区



シカ防護柵設置



路網整備事業（新設工事）

